

平成29年度事業報告書

社会福祉法人 松野町社会福祉協議会

目次

I 社会福祉事業

1	法人運営事業	- 1 -
2	地域福祉推進事業	- 6 -
2-1	地域福祉推進事業	- 6 -
2-2	福祉相談・援助活動	- 9 -
2-3	共同募金運動等の推進	- 11 -
2-4	福祉団体事務	- 13 -
3	在宅福祉サービスの推進	- 15 -
3-1	居宅介護支援事業	- 15 -
3-2	訪問介護事業	- 16 -
3-3	訪問入浴事業	- 17 -
3-4	身体障害者居宅介護事業	- 17 -
4	まごころ銀行運営事業	- 18 -

1 法人運営事業 (総支出 13,900,600 円)

(1) 本会の支援基盤及び財政基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

会員募集結果	一般会員	1,179,000 円	(1,179 件)
	特別会員	51,000 円	(17 件)
	合計	1,230,000 円	

(2) 理事会、評議員会の開催

○理事会 (6 回)

平成 29 年 6 月 9 日 出席者 理事 9 名 (欠席 2 名) 監事 2 名
評議員の補欠選任候補者の推薦について
平成 28 年度事業報告の承認について
平成 28 年度決算の承認について
平成 29 年度補正予算の承認について
職員就業規則及び賃金規程の改正について
その他
理事、監事候補者について
今後の会議日程について

平成 29 年 6 月 27 日 出席者 理事 10 名 (欠席 1 名) 監事 2 名
(報告) 理事・監事の選任について
会長、副会長の選任について
まごころ銀行助成金交付に係る審査について
その他
役員就任承諾書、履歴書の提出について
介護保険事業者等の役員等誓約書について
申立書の提出について

平成 29 年 8 月 9 日 出席者 理事 10 名 (欠席 1 名) 監事 2 名
(報告) 社会福祉法人変更登記の完了について
職員就業規則及び嘱託職員賃金規程の改正について
その他
理事の補欠選任について

平成 29 年 11 月 14 日 出席者 理事 8 名 (欠席 3 名) 監事 1 名
(報告) 関係機関からの理事、評議員候補者の推薦の回答について
評議員候補者の推薦について
役員等の報酬等及び費用弁償に関する規程について
その他
理事選出区分に関する議会代表者枠の取扱いについて

平成 30 年 2 月 23 日 出席者 理事 11 名 (欠席 1 名) 監事 2 名
(報告) 理事の選任結果について
(報告) 評議員の選任結果について
(報告) 事務局体制の変更について
評議員候補者の推薦について
その他
介護保険事業者等の役員等誓約書について

平成 30 年 3 月 20 日 出席者 理事 8 名 (欠席 4 名) 監事 2 名
(報告) 事務局体制の変更について
(報告) 評議員の選任結果について
平成 29 年度資金収支第 2 次補正予算 (案) について
平成 30 年度事業計画 (案) について
平成 30 年度資金収支予算 (案) について
その他
まごころ銀行公募事業について

○評議員会 (3 回)

平成 29 年 6 月 26 日 出席者 評議員 15 名 欠席 7 名 監事 1 名
(報告) 評議員の補欠選任について
理事・監事の選任について
平成 28 年度事業報告の承認について
平成 28 年度決算の承認について
平成 29 年度補正予算の承認について
その他

平成 30 年 1 月 24 日 出席者 評議員 21 名 欠席 3 名
(報告) 評議員の選任について
(報告) 社会福祉法人変更登記の完了について
役員等の報酬等及び費用弁償に関する規程の制定について
評議員・役員選任規程の改正について
理事の選任について
その他

平成 30 年 3 月 29 日 出席者 評議員 18 名 欠席 6 名
(報告) 評議員の補欠選任について
(報告) 事務局体制の変更について
平成 29 年度資金収支第 2 次補正予算 (案) の承認について
平成 30 年度事業計画 (案) の承認について

平成 30 年度資金収支予算（案）の承認について
 その他
 まごころ銀行公募事業について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催（3回）

○評議員選任・解任委員会

平成 29 年 6 月 15 日 出席者 選任・解任委員 5 名 会長、事務局 3 名
 （報告）評議員の選任の結果について
 評議員の補欠選任・解任について
 その他

○評議員選任・解任委員会

平成 29 年 12 月 26 日 出席者 選任・解任委員 5 名 会長、事務局 2 名
 （報告）評議員の選任の結果について
 評議員の補欠選任・解任について
 その他

○評議員選任・解任委員会

平成 30 年 3 月 9 日 出席者 選任・解任委員 5 名 会長、事務局 2 名
 （報告）評議員の選任の結果について
 評議員の選任について
 その他
 議事録の取扱いについて

(4) 監査の実施状況

平成 29 年 5 月 26 日 （28 年度監査）監事 2 名、会長、職員 3 名

(5) 松野町社会福祉協議会役職員研修会

講演 「社会福祉協議会の原点と期待される役割」
 講師 山梨県立大学人間福祉学部 高木寛之氏

(6) 労務管理・職員数の状況

区分	法人全体				単位:人
	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
平成29年4月1日	10	3	2	4	19
平成30年3月31日	9	3	1	5	18
増 減	△ 1	0	△ 1	1	△ 1

法人運営・地域福祉推進事業

単位:人

区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
平成29年4月1日	3		2	3	8
平成30年3月31日	3		1	4	8
増減	0	0	△1	1	0

在宅福祉サービス事業

単位:人

区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
平成29年4月1日	7	3	0	1	11
平成30年3月31日	6	3	0	1	10
増減	△1	0	0	0	△1

(7) 各種大会の開催

①松野町敬老式の開催

松野町及び松野町中央公民館との三者共催による松野町敬老式を開催した。

長寿の祝い歳の方々(数え77歳、80歳、88歳、90歳、99歳、100歳)に、記念品を贈呈する式典形式で開催し、長寿を祝う下記内容の式典を行った。

なお、長寿の方々への案内状の配布と式典に参加出来なかった方への記念品の配達には行政職員が安否確認を兼ねて訪問している。

9月15日 開催

主な内容

式典

オープニングショー

各保育園児

記念品贈呈

祝い歳の高齢者

児童作文発表

各小学校児童代表

交通安全講話

宇和島警察署 交通課

慰安演芸会

アトラクション

フレンドまつの有志

開催費用 681,337 円

記念品贈呈者数

単位:人

祝い歳	生まれ年	合計
喜寿(数え77歳)	昭和16年生まれ	62
傘寿(数え80歳)	昭和13年生まれ	49
米寿(数え88歳)	昭和5年生まれ	47
卒寿(数え90歳)	昭和3年生まれ	27
白寿(数え99歳)	大正8年生れ	9
百賀(数え100歳)	大正7年生れ	1
合計		195

年度 内訳	平成29年度			平成28年度			平成27年度			平成26年度			平成25年度		
	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者	該当者	申込者	当日参加者
喜寿	62	25	26	56	28	29	51	20	21	53	16	16	85	41	39
傘寿	49	19	21	78	28	28	66	34	33	80	27	28	74	24	23
米寿	47	14	17	59	14	13	30	10	9	48	11	10	51	14	15
卒寿	27	4	4	42	15	15	50	7	7	41	15	14	41	11	10
白寿	9	5	5	2	0	0	2	0	0	1	0	0	4	1	1
百賀	1	0	0	2	1	1	0	0	0	2	2	2	3	1	1
小計	195	67	73	239	86	86	199	71	70	225	71	70	258	92	89
老人クラブ代表		45	43		52	52		65	-		54	41		56	54
祝い年重複者		4	4		6	6		3	-		7	6		12	12
合計	195	108	112	239	132	132	199	133	-	225	118	105	258	136	131
慰安演芸のみ								153							

参加割合	喜寿	42%	喜寿	52%	喜寿	41%	喜寿	30%	喜寿	46%
当日参加者/該当者	傘寿	43%	傘寿	36%	傘寿	50%	傘寿	35%	傘寿	31%
	米寿	36%	米寿	22%	米寿	30%	米寿	21%	米寿	29%
	卒寿	15%	卒寿	36%	卒寿	14%	卒寿	34%	卒寿	24%
	白寿	56%	白寿	0%	白寿	0%	白寿	0%	白寿	25%
	百賀	0%	百賀	50%	百賀	-	百賀	100%	百賀	33%

②松野町戦没者追悼式の開催

松野町並びに松野町遺族会と共催による戦没者追悼式を開催した。
なお祭壇は、一昨年度から造花を使用して設営し、実施した。

参加者 約 60 名

開催費用 57,377 円（献花、記念品代等）

3 月 17 日 開催

③少年の日を祝う会への助成

松野中学校と相談し、中学 2 年生 30 名を対象に記念品等を贈り、その開催を支援した。（少年式は授業時間数の確保等のため、平成 16 年度に開催形式を変更し「少年の日を祝う会」とし、中学校単独実施となっている。）

助成費用 57,038 円（記念品代、会場設営費等）

④福祉のつどいの開催

福祉問題をより身近に感じて、住民の福祉に関する理解と関心を高められるよう講演会等を開催した。

本年度は、「笑い与健康」をテーマに、子どもから大人まで地域の様々な人が参加できる講演会とイベントを行った。

開催時イベント 宇和島徳洲会病院による健康チェック
バルーンアート

内容

- ・ 社会福祉協議会の活動紹介
- ・ 講演 枝廣 篤昌 氏

（一般財団法人 新居浜精神衛生研究所 附属 豊岡台病院病院長）
「笑いのチカラ」（落語と講演）

参加者 約 110 名
開催費用 126,537 円
平成 29 年 11 月 12 日 開催（吉野生地区文化祭と共催）

2 地域福祉推進事業（総支出 16,641,838 円）

2-1 地域福祉推進事業

(1) 第 1 次松野町地域福祉活動計画の推進

「いまある支え合いを大切に自分たちでまちづくり」を基本理念に、平成 29 年度から 33 年度を活動期間とする地域福祉活動計画のスタート年度にあたり、周知、広報に重点的に取り組むと共に、各地区の活動の支援を行った。

地区福祉活動計画推進委員会打合せ会 1 回

地区福祉活動推進委員会の開催 1 回（推進委員 60 名）

講師：山梨県立大学人間福祉学部 高木寛之氏

地区福祉活動推進委員親睦会 1 回（推進委員 23 名）

事業費 257,336 円

(2) ボランティアグループの支援

松野町福祉ボランティアグループと協働して、見守り型給食サービスの実施や広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

また、日赤奉仕団のボランティア活動を支援した。

○福祉ボランティアグループ総会の開催

平成 29 年 5 月 19 日

○給食サービス（月 2 回） 計 24 回 配食数 444 食（18.5 食／回）

利用者（見守りが必要な一人暮らしの高齢者等、高齢夫婦世帯等）

14 名～23 名（入院等による月変動有り）

○朗読ボランティア活動（朗読ボランティアグループによる自主的活動）

広報まつの等を年 12 回録音しテープを貸出した。

利用者 1 名

南予地域ボランティア交流会参加 1 回

読み聞かせ研修会実施 1 回（5 名）

読み聞かせの実施（学童保育 6 回、松野西小学校 5 回、松野東小学校 1 回）

○ボランティア活動保険への加入

誰もが安心してボランティア活動に参加できるよう、社協を拠点とした福祉ボランティア活動者全員に対応できる保険に加入した。

加入者数 80 名 28,000 円（一人 350 円）

○日赤奉仕団の支援

- ・ 総会の開催支援 平成 29 年 4 月 20 日
- ・ 赤十字手つなぎボランティアの支援 平成 29 年 5 月 29 日
通学路の清掃活動 奉仕団参加 8 名
- ・ 子育て支援防災講座 平成 29 年 7 月 18 日
身体清潔のためのホットタオル作り講習
子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 3 組
奉仕団参加 2 名
- ・ 認知症講座「ロバの輪プロジェクト」 平成 29 年 9 月 25 日
奉仕団参加 8 名
- ・ 地域高齢者生活支援活動「ひだまり赤十字」平成 29 年 10 月 26 日
萩の会・桃の会（延野々地区サロン）
- ・ 赤十字ぬくもり子育て広場の開催支援 平成 29 年 11 月 28 日
子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 4 組
奉仕団参加 3 名

(3) ボランティア活動推進

- ボランティア活動の場を広げるため、施設やイベント等の要望について情報収集し、ボランティアへとつなげた。
 - ・ 古城園 童謡唱歌の会訪問活動支援
 - ・ 朗読ボランティア読み聞かせ活動など
 - ・ 桃源郷マラソン大会給水ボランティア
 - ・ フレンド芝桜まつり
- ボランティア活動の質の向上のため、講習会等の情報提供を行った。

(4) ふれあい郵便の実施

一人暮らしの高齢者並びに介護保険利用者へハガキを年 2 回程度郵送し、安否確認を行い、地域の見守り活動を推進した。

ふれあい郵便配達数	年賀状	320 名
	暑中見舞い	300 名
	合 計	620 名

(5) 生きがい活動支援通所事業の実施

在宅で生活する 65 歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。

また、参加者の意見を取り入れ、一日研修（しまんトロッコ乗車、伊達博物館見学）を実施した。

スタッフ 職員 4 名

(正規職員 1 名、臨時職員 1 名、パート職員 2 名)
 地区 6 班 (松丸 目黒上、目黒下、西の川 吉野 1、吉野 2)
 利用者 62 名
 参加費 1 回約 500 円 昼食代等

(6) ふれあい・いきいきサロンの拡充

○ 地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいを推進した。

グループ名	実施回数	参加者
萩の会 (延野々五郎丸)	12 回	13 名
脱線グループ (豊岡後)	13 回	9 名
なでしこ (豊岡前)	12 回	21 名
ミナクル会(富岡古市場)	12 回	8 名
パワーズ (吉野)	48 回	10 名
コスモスの会 (蕨生)	12 回	16 名
にこにこ会 (蕨生谷口)	11 回	6 名
陽だまり会(蕨生奥内)	11 回	15 名
むくの会 (奥野川)	11 回	18 名

○ 介護者自身の心と身体の健康を保つことや、情報交換しながら互いに支えあい、経験を分かち合いながらよりよい介護を目指すことを目的として、「介護者サロン」を実施した。地域福祉担当職員、地域包括支援センター職員、ケアマネージャー、ヘルパーと連携し、情報発信や運営を行った。

平成 29 年 7 月 5 日 参加者 4 名
 平成 29 年 10 月 4 日 参加者 4 名
 平成 29 年 12 月 6 日 参加者 5 名

(7) 生活支援体制整備事業 (町受託事業)

介護保険事業の地域支援事業における生活支援体制整備事業生活支援コーディネート業務を、平成 28 年 8 月から松野町との契約により実施。

- ・生活支援サービス協議体 会議 2 回開催
- ・外出機会のアンケート

対象 : 65 歳以上の住民 (入院施設入所者除く) 回収率 : 76%

- ・町内課題抽出と整理、社会資源、ニーズ把握を実施

(8) 福祉教育への取り組み

ふだんの暮らしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来ることを考えるきっかけづくりとして、学校との協働で福祉教育に取り組んだ。

○ 福祉教育の実施 松野中学校 2年生 平成 29年 5月 9日

町内のスーパーや温泉施設で高齢者疑似体験、車イス体験を行い、地域の実情を知り、バリアのない誰もが住みやすい地域づくりに向けて、自分たちが出来ることを考えるきっかけ作りをした。

○ 認知症講座の実施 松野中学校 11名 平成 29年 7月 27日

松野中学校人権委員会により呼びかけて参加した生徒を対象に、朗読ボランティアによる認知症紙芝居を行い、認知症への理解を深めた。また、地域ボランティアも交え、認知症サポーターのキャラクターであるロボのマスコットを作りながら世代間の交流を深めた。

○ 高齢者との交流会実施 平成 29年 11月 20日

南小学校と生きがい活動支援通所事業目黒地区参加者との交流会

(9) 子育て支援への取り組み

子育て世代の孤立を防止し、住みやすい地域を目指し、地域づくりの担い手を育成した。

○ 「赤十字ぬくもり子育て広場」実施 平成 29年 11月 28日

子どもが元気ですくすくと育つことができる地域社会を目指して、子どもの食育についての講義と応急手当の実技、松野町赤十字奉仕団員との交流により地域コミュニティの活性化を図った。

参加者 子育て支援グループ「つくしんぼ」親子 4組
松野町日赤奉仕団 3名

2-2 福祉相談・援助活動

(1) 心配ごと相談所事業の実施（町受託事業）

○相談員（民生児童委員 18名）を中心に、毎月 1回町民センターにおいて心配ごと相談所を開設し、あらゆる悩みごとが気軽に相談できるよう、相談支援活動に努めた。

○総合的な相談支援活動として、年 2回弁護士による専門的立場からの指導並びに助言を仰いだ。

相談件数 5件 [金銭関係 2件 相続手続き 1件 近隣との関係 2件]
事業費 110,572円

(2) 福祉サービス利用援助事業の実施（県社協受託事業）

認知症や障害者など判断能力に不安があったり、不十分な方が、できる限り地域で安心して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用にあたり、本人との契約により下記の援助を行った。

- ・福祉サービスの利用契約における援助
- ・情報提供、相談、助言
- ・日常的金銭管理、書類等預かりサービス

利用者 3 名 相談件数 32 件

生活支援員 2 名

利用料 1,000 円（1 回 1 時間程度 生活保護受給者は無料）

(3) 法人成年後見人の実施

平成 26 年 11 月の家庭裁判所審判（松野町長申立てによる家裁審判）により、1 件（認知症高齢者）の成年後見人として、家庭裁判所等と相談しながら、被後見人の財産管理や身上監護（生活・医療・介護等に関する契約や手続き）を含めた生活支援を行った。 後見報酬 120,000 円

(4) 生活困窮者自立支援事業（県受託事業）

愛媛県からの受託により、「くらしの相談支援室」を開設し、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付け、関係機関との連携により、情報提供や必要な支援を行うと共に、プランの作成を行い、一体的、かつ計画的な支援に努めた。

また、家計の収支の均衡がとれていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じる家計相談支援事業も併せて実施した。

- ・新規相談受付件数 14 件
- ・総相談件数 78 回
- ・プラン作成件数 1 件
- ・就労者数 1 件
- ・支援調整会議の開催 1 回

(5) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

（愛媛県社協の委託事業 受託費 208,781 円、相談体制整備 345,900 円）

低所得世帯等を対象とした貸付金制度である生活福祉資金において、民生児童委員の協力により相談受付及び貸付事務を行うとともに、償還事務を実施した。

資金別貸付状況表（平成 29 年度）					
	緊急小口	教育支援	福祉資金	合計	備考
貸付件数	0 件	2 件	0 件	2 件	
貸付金額	0 円	3,402,000 円	0 円	3,402,000 円	

相談件数 34 件

(6) 小口貸付資金貸付

緊急または不時の出費を要する場合に、生活困窮者の自立を支援するため、民生委員と連携して相談支援及び小口資金の貸付けを行った。

件数	11 件	貸付金額	256,000 円	(29 年度貸付総額)
預金額			80,000 円	(30 年 3 月末)
原資			336,000 円	

2-3 共同募金運動等の推進

(1) 共同募金運動の推進

本年度募金目標額 744,000 円を設定、各部落区長、組長、民生児童委員協議会、各種団体と住民の皆様の理解と協力により、下記の実績をおさめることが出来た。

共同募金目標額	744,000 円
共同募金実績額	794,350 円
目標達成率	106.8%

(2) 共同募金配分事業（28 年度募金による 29 年度配分事業充当）の実施

総事業費 812,674 円

(ア) 町内の集会所に設置されている遊具を専門業者に依頼し一斉点検を行い、児童の健全育成の支援を行った。点検結果をもとに業者と相談し、今年度の修繕は実施しなかった。

○ 点検箇所 10 箇所

(礁崎児童公園、向井公園、向井集会所公園、延野々集会所公園、隣保館公園、豊岡後集会所公園、豊岡前住宅集会所公園、梁瀬集会所公園、伊井公園、逆杖公園)

調査費 54,000 円

(イ) 母子父子家庭クリスマスプレゼント事業の実施

両親に恵まれない小学校児童、幼児 30 名に対し、民生児童委員の協力を得てクリスマスプレゼントを贈り、地域における要援護児童家族の把握を行うとともにその健やかな成長を支援した。

未就学児	6 名		
小学 1 年生	5 名		
小学 2 年生	5 名		
小学 3 年生	2 名		
小学 4 年生	4 名		
小学 5 年生	2 名		
小学 6 年生	6 名		
合計	30 名	事業費	98,513 円

(ウ) 地域活動支援

- ふれあい・いきいきサロンへの助成
立ち上げ助成金 30,000 円 (3 グループ)
- 目黒地区の生活支援組織「にこにこ会」の活動を支援
傷害保険料 4,914 円
- 福祉学習、災害時に使用する備品、介護予防のための備品の整備
248,747 円
- 地域福祉活動計画推進助成金 150,000 円 (10 地区)
- 中学卒業記念品の図書カードを通して学習支援 (卒業生 31 名)
46,500 円

(エ) 地域福祉推進特別事業 180,000 円

○愛媛県共同募金会からの特別配分により、地域住民の健康づくり、仲間づくり、生きがいくりのために、ふれあい・いきいきサロン活動に対して活動助成金を交付した。(町内 9 サロン)

(3) 歳末たすけあい運動の実施

平成 29 年度においても「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動を各部落区長・組長の支援を受けて実施した。この運動に対し、住民の皆様の温かい協力により、315,100 円の善意が寄せられ、300,000 円の義援金を福祉施設入所者 20 名と、町内在住者 162 名へ贈った。

なお、町内在住者の義援金配布においては、地区担当民生委員の協力により、見守りを兼ねて実施した。

運動事務費 15,100 円

(4) 日本赤十字社 社資募金

本年度日赤県支部よりの割当て目標額 559,000 円を設定、社資募金運動を展開した結果、住民の皆様の理解と各部落の区長、組長の協力により、下記の実績をおさめることが出来た。

社資募金目標額	559,000 円	
社資募金実績額	615,000 円	目標達成率 110.0%

(5) 九州北部豪雨災害義援金の募集

募金箱を町内 7 か所 (松野町役場、松野町中央診療所、ぽっぽ温泉、虹の森公園レストラン、吉野生支所、JA 目黒店、松野町社会福祉協議会) に 7 月から 12 月まで設置し、多くの皆様のご協力により、下記の募金を日本赤十字社を通じ、送金した。

募金額 49,102 円

2-4 福祉団体事務

(1) 松野町老人クラブ連合会への自立支援

松野町老人クラブ連合会の事務局として、理事会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

- ① 会議開催の支援
 - ・理事会 開催回数 2回
 - ・総会 開催回数 1回
- ② 軽スポーツの普及支援
 - ・クロッケー大会 1回
 - ・ペタンク大会 1回
- ③ 単位老人クラブの活動支援
 - ・総会の資料作成支援
 - ・一日研修の支援
 - ・健康づくり学習会等の支援

(2) 松野町身体障害者福祉協議会への自立支援

松野町身体障害者福祉協議会の事務局として、役員会の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

- ① 会議開催の支援
 - ・役員会 開催回数 1回
 - ・総会 開催回数 1回
- ② 各種大会等の引率
 - ・県障害者福祉推進大会
 - ・中四国身体障害者福祉大会
 - ・県身障連市町団体代表者会議
 - ・愛媛県障がい者スポーツ大会
 - ・全国障がい者スポーツ大会
- ③ 運営費の助成 26,400 円
研修費助成 31,580 円（中四国大会等）

(3) 松野町遺族会への自立支援

松野町遺族会の事務局として、役員会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

- ① 会議開催の支援
 - ・役員会 開催回数 1回
- ② 各種大会等の引率
 - ・愛媛県遺族大会
- ③ 戦没者追悼式の共催
- ④ 慰霊塔 位牌堂塗装
- ⑤ 運営費の助成 26,400 円

- (4) 松野町母子寡婦福祉協議会への支援
 - ① 運営費の助成 16,000 円

- (5) 朗読ボランティアへの支援
 - ① 運営費の助成 12,000 円

- (6) 愛媛県南予地区里親会への支援
 - ① 運営助成金 10,000 円

3 在宅福祉サービスの推進 (総支出 41,929,465 円)

3-1 居宅介護支援事業

平成 12 年 4 月から開始された介護保険制度に対応し、指定居宅介護支援事業所として、介護保険利用者の居宅介護支援計画（ケアプラン）の作成やサービス担当者会議の開催（円滑な支援のための事業者と利用者、介護者家族間の連絡調整）、及び訪問相談支援活動を行い、利用者が健全で安らかな在宅生活を送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。

また、利用者世帯への相談助言活動を通じて、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、理学療法士、保健師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。

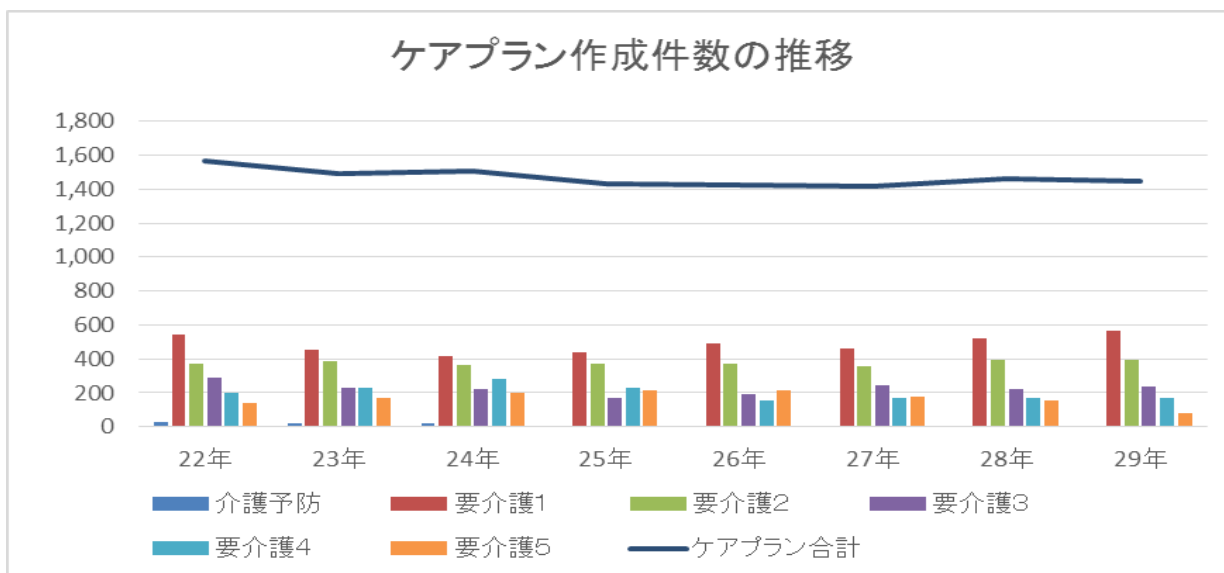
ケアプラン作成件数

	支援件数	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	H29年度
4月	122		55	28	20	11	8	
5月	121		51	29	20	12	9	
6月	116		47	30	21	12	6	
7月	120		48	32	21	13	6	
8月	121		47	33	19	16	6	
9月	123		47	32	20	17	7	
10月	123		47	31	21	17	7	
11月	122		48	31	20	15	8	
12月	113		44	35	19	14	1	
1月	120		43	35	19	15	8	
2月	122		43	38	19	15	7	
3月	125		47	38	18	15	7	
計	1,448	0	567	392	237	172	80	

住宅改修支援 10件
福祉用具購入支援 11件

ケアプラン作成件数の推移

年度	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
介護予防	28	21	23	1	0	1	0	0
要介護1	545	452	417	440	490	464	519	567
要介護2	369	387	364	375	375	359	396	392
要介護3	292	231	219	172	191	242	225	237
要介護4	198	230	280	230	157	172	169	172
要介護5	137	172	202	215	213	181	152	80
ケアプラン合計	1,569	1,493	1,505	1,433	1,426	1,419	1,461	1,448



3-2 訪問介護事業

平成12年4月から開始された介護保険制度に対応し、指定訪問介護事業所として、生活援助や身体介護を行い、利用者の日常生活動作の改善や、生活の質を高める介護に努めた。なお、平成23年9月から土日祝の介護サービスの提供を実施している。

サービスの質の向上と併せて、経営の改善を図るため、特別事業所加算や特別地域加算導入に向けた研究を行った。

訪問介護事業の利用状況 (訪問回数・訪問時間)

要介護者訪問回数

	利用者数	身体	生活	複合	計
4月	28	194	123	23	340
5月	29	211	150	21	382
6月	26	178	143	19	340
7月	27	195	130	10	335
8月	27	213	158	11	382
9月	31	182	159	7	348
10月	30	187	167	8	362
11月	26	190	129	7	326
12月	24	188	100	19	307
1月	22	150	99	22	271
2月	24	139	115	27	281
3月	25	172	121	30	323
計	319	2,199	1,594	204	3,997

介護予防訪問回数

利用者数	介護予防
25	164
28	195
26	186
27	180
25	180
26	176
25	171
24	161
21	128
20	125
20	120
19	136
286	1,922

要介護者訪問時間

	利用者数	身体	生活	複合	計
4月	28	131.5	111	23	265.5
5月	29	146.5	135.5	21	303
6月	26	113	128	19	260
7月	27	124	118	10	252
8月	27	138	141.5	11	290.5
9月	31	134.5	142.5	7	284
10月	30	131.5	150.5	8	290
11月	26	126	116.5	7	249.5
12月	24	120	92.5	19	231.5
1月	22	97.5	91.5	22	211
2月	24	84.5	112	27	223.5
3月	25	108	118	30	256
計	319	1,455.0	1,457.5	204.0	3,116.5

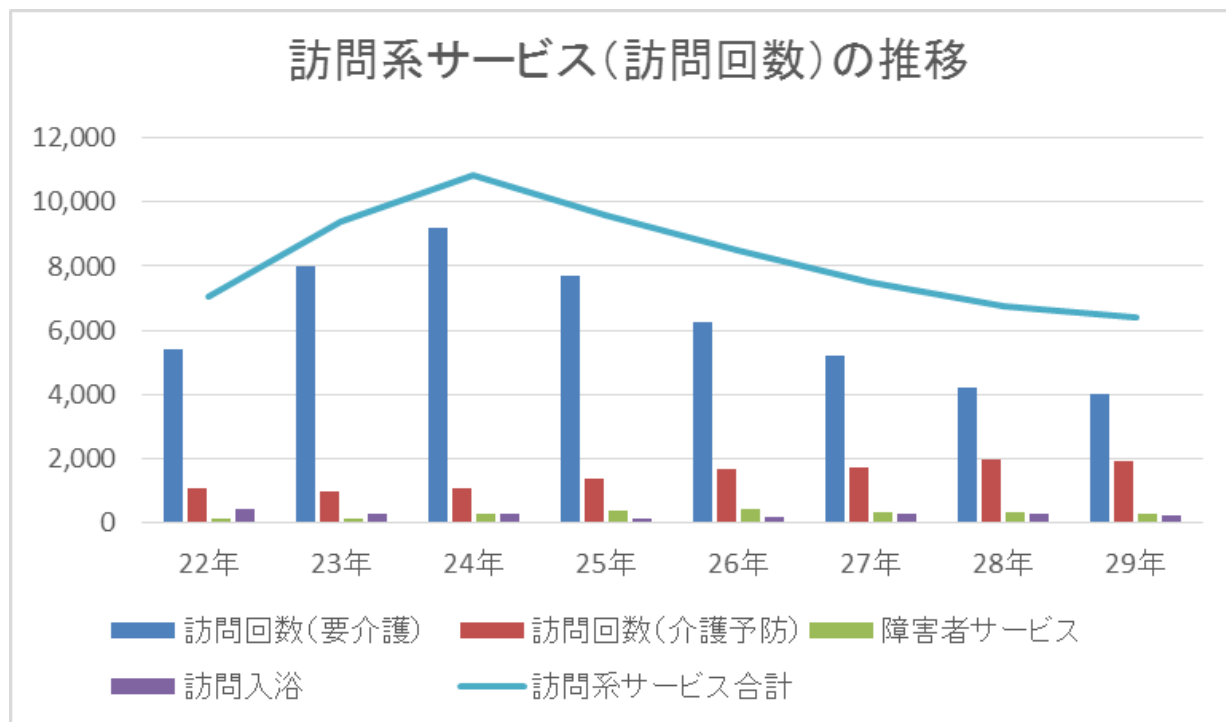
介護予防訪問時間

利用者数	介護予防
25	156.5
28	186.5
26	180
27	176
25	175
26	173
25	167
24	157
21	124.5
20	121
20	116
19	131.5
286	1,864.0

訪問系サービス 訪問回数の推移

年度	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
訪問回数(要介護)	5,404	8,022	9,189	7,678	6,264	5,196	4,199	3,997
訪問回数(介護予防)	1,088	951	1,096	1,398	1,676	1,741	1,966	1,922
障害者サービス	147	130	272	399	415	310.5	307	273
訪問入浴	424	299	280	137	161	271	268	218
訪問系サービス合計	7,063	9,402	10,837	9,612	8,516	7,519	6,740	6,410

訪問系サービス(訪問回数)の推移



3-3 訪問入浴事業

平成12年4月から開始された介護保険制度に対応した指定訪問入浴介護事業所として事業実施をしていたが、平成21年7月から基準該当訪問入浴事業所として松野町の登録へと変更し、職員体制を効率よく配置できるよう調整を行い、在宅で寝たきりの方の機能回復や清潔を保ち、在宅福祉の向上に努めた。

訪問入浴事業の利用状況

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	5	5	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	48
回数	24	17	17	20	21	20	18	8	13	18	19	23	218

3-4 身体障害者居宅介護事業

平成18年4月に開始された障害者自立支援法(平成25年4月から障害者総合支援法へ改正)に対応し、指定障害者居宅介護事業所として、身体障害者が在宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーを派遣し、身体介護や家事援助等を行い、自立的生活を支援した。

また、65歳に達した利用者が、スムーズに介護保険サービス利用に移行できる様、相談支援事業所や保健福祉課、居宅介護事業所等と連携を図った。

身体障害者居宅介護事業の利用状況

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
身体中心													0
家事中心	26	28	28	28	20	22	22	21	20	19	18	21	273

4 まごころ銀行運営事業（総支出 754,000 円）

町民の方の善意の寄付金を受付管理し、お礼状を発送するとともに本人の同意のもとに広報誌等へ記載し、その健全な管理運営に努めた。

また、まごころ銀行助成金交付要領に基づき、助成事業を公募し理事会における審査を行い、助成金の交付を行った。

平成 29 年度 寄付金	1,375,000 円 51 件
寄付金総額（前年度末総額）	22,782,166 円（22,160,945 円） （621,221 円増 対前年度比）

寄付申込書における使途希望状況

使途目的	金額	件数	割合(金額比)	割合(件数比)
地域福祉事業のために使ってください	555,000円	21	40%	41%
介護保険事業のために使ってください	190,000円	9	14%	18%
法人に一任します	630,000円	21	46%	41%
その他	円	0	0%	0%
計	1,375,000円	51	100%	100%

活用状況

- ・平成 29 年度 まごころ銀行助成金交付事業（公募）
154,000 円（吉野生スポーツ少年団ユニフォーム購入事業）
- ・社協地域福祉事業 348,000 円
- ・社協介護保険事業 252,000 円